**ハンドマイク街頭演説原稿例　政権交代で「７つの提案」実現を**

二〇二〇年十月十六日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策をうったえさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　菅政権が発足してから１か月が過ぎました。早くも浮き彫りになっているのは、安倍政権以上の強権政治ぶりです。日本学術会議への人事介入はその最たるものです。また、新型コロナ危機でかつてない困難に直面している国民に「自助・共助・公助」と語り、「自己責任」を押し付ける冷たい姿勢もあらわになっています。安倍首相が推進してきた改憲や沖縄での米軍新基地建設も加速させようとしています。権力の行使には自制が効かず、国民の苦しみには目を向けない、菅政権を続けさせるわけにはいきません。総選挙で政権交代を実現し、野党連合政権で新しい政治をつくろうではありませんか。日本共産党は、そのために国民のみなさんや他の野党とも力をあわせます。

　みなさん。それでは、政権交代を果たして、どんな新しい日本をつくるのか…日本共産党はまず、引き続き新型コロナ危機から国民の命とくらしを守り、経済を立て直すために全力をつくします。新型コロナ危機の体験を通じて明らかになったのは「人間は一人では生きていけない」「社会の力、とりわけ国や自治体による『公助』が不可欠だ」ということではないでしょうか。つまり、「自己責任」を押し付ける「新自由主義」では、この社会はもはや立ち行かないことが明らかになったのです。日本共産党は、「新自由主義」を乗り越えたコロナ後の新しい社会をつくる、次の「７つの提案」をしています。

１つは、医療・介護・障害福祉・保育など「ケアに手厚い社会」をつくります。

２つは、正社員が当たり前、８時間働けばふつうにくらせる社会へ「人間らしく働ける労働のルール」をつくります。

３つは、「少人数学級」や学費半減で「一人ひとりの学びを保障する社会」をつくります。

４つは、内需と家計、中小企業を経済政策の軸にすえ、「危機にゆとりをもって対応できる強い経済」をつくります。

５つは、感染防止策などで「科学を尊重し、国民に信頼される政治」をつくります。

６つは、学問の自由を守り、予算の増額で「文化・芸術を大切にする国」をつくります。

７つは、性暴力被害者の相談事業をめぐり「女性はいくらでもうそをつく」と発言した杉田議員を擁護する自民党は許せません。「ジェンダー平等社会」をつくります。

以上、日本共産党の「７つの提案」には、「自己責任」を押し付け、経済効率のみを最優先する今の自民党政治から、人間のケア、雇用、教育、食料、エネルギー、文化芸術など、人間が生きていくために必要不可欠なものを最優先する政治に切り替えようという、日本共産党の理念が貫かれています。政権交代で野党連合政権をつくり、ごいっしょに、この「７つの提案」を実現しましょう。そのためにも、ぜひ日本共産党を大きくしてください。

　最後に、日本共産党の「しんぶん赤旗」の購読をお願いしまして、この場所をお借りしてのうったえを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）